

<p>松原地区</p>	<p>平成28年度</p>	<p>推進交付金：550,000円</p>
<p>取組み1 高齢者サロン事業(ぷらっとカフェ) 松原地区町会連合会主催</p>		<p>推進交付金の活用 有</p>
<p>(1) 目的 地区内高齢者相互のコミュニケーションを図り、会話を楽しんでいただく機会を設け、地域全体で高齢者を見守っていく気運の醸成につなげます。</p> <p>(2) 取組み 町内公民館において、毎週水曜日と土曜日の午前中に地区住民を対象としたサロン（ぷらっとカフェ）を開設 毎回2名程度のボランティアを配置して実施</p> <p>① ぷらっとカフェ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>② 出張ぷらっとカフェ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(3) 今後の展開 毎回10名程度の来場者があり好評ですが、事業開始から3年が経過し、利用者の固定化も見られるため、新たな利用者を増やす取組みやサロン運営の内容について再検討を行います。</p>		

取組み2 食器回収事業

推進交付金の活用

省エネエコの会・松原地区公民館・町会連合会主催

有

(1) 目的

本事業実施により、地域全体としてエコ意識の向上を図ります。

また、対面回収により地域住民相互のコミュニケーションを図り、地域の活性化に結びつけます。

(2) 取組み

地区住民を対象とした不用食器の回収を実施

ア ボランティアの募集（5月）

イ 食器回収（6月5日 松原地区公民館）

ウ 回収食器搬出（9月3日）

① 不用食器回収作業



② 回収食器搬出作業



(3) 今後の展開

地区外から食器を持ち込まれる方が目立ち、事業に対するニーズは高いと思われます。取組みの輪をさらに他地区へ広げていくとともに、リユースへの需要調査も進めます。

取組み3 新そばふるまい会

推進交付金の活用

松原地区町会連合会・松原地区公民館主催

有

(1) 目的

日頃から閉じこもりがちな高齢者の社会参加を促し、地域住民相互の交流による地域住民の結びつきを深めます。

(2) 取組み

高齢者並びに地域の人達を対象に、地域のそば打ちサークルが中心となり新そばをふるまい、交流する場の創出を図りました。

(参加費200円、一人暮らしのお年寄りはお招待)

① ふるまい会会場



② そばを打つ地域ボランティア



(3) 今後の展開

毎年楽しみにしている方たちが大勢いるため、引き続き開催ます。
一人暮らしの高齢者の参加を増やすため、一層の周知を図ります。

取組み 4 AED設置事業

推進交付金の活用

松原地区町会連合会主催

有

(1) 目的

町内公民館では、高齢者サロン事業・放課後子ども教室が実施されており、日々大勢の高齢者・子ども達が利用しています。また、地区を挙げての行事である、運動会・球技大会・夏祭り等の会場へAEDを携行することにより、緊急救命体制の充実を図ります。

(2) 取組み

町内公民館に可搬型AEDを設置するとともに、町会役員・ボランティアスタッフ等を対象とした救命措置の学習会を実施し、高齢化の進む地区内での救急救命体制の整備を図りました。

① 町内公民館（設置場所）



② 設置AED



③ 町会対抗球技大会



④ 地区夏祭り



(3) 今後の展開

町内公民館付近での緊急時に、通常無人の公民館からどのようにAEDを搬出するか等の申し合わせ事項を整理するとともに、その周知に努めます。

取組み 5 地域包括ケアシステム検討会議設置

推進交付金の活用

松原地区町会連合会主催

無(29年度は有)

(1) 目的

地域包括ケアシステムについて学習しながら検討を進め、松原地区の現状把握や弱点の洗い出しなどを行い、地域に適したシステム、地域でできるシステム運営等の考察を行うことで、30年度以降の構築に向けて離陸準備を整えます。

(2) 取組み

会議構成

委員長 町会連合会三役より連合会計

構成員 全町会長（7名）、民生児童委員会長、健康づくり推進員会長、地区公民館長、福祉ひろばコーディネーター、地域包括支援センター長、地区担当保健師、地域づくりセンター長

松原地区における地域包括ケアシステムの在り方、構築していく方法等について、1年を目途に検討します。

① 地域の状況、課題洗い出しのためのワークショップ（29年度春）



② 地区住民対象の地域包括ケア研修会（29年度 6/11）



(3) 今後の展開

28年度末に立ち上げ、毎月1回会議を開催してきました。

松原地区では、場づくりはできていますが、関係づくり、連携づくりへの展開が弱いことがわかってきました。

各町会での場づくり、関係づくりの強化を図りながら、地域としてどのようなシステム構築が望ましいのか、29年度末までに一定の方向性を見い出します。